



旅山所から帰路につく行列一行

来年の大祭に向けて一宮水無神社例祭挙行

一之宮まち協だより

第25号

平成28年6月1日

一之宮町
まちづくり協議会
広報部

高山市一之宮町3087
電話 53-2424

飛騨一宮水無神社の例祭が5月2日に行われました。

晴天の中、神社本殿では午前10時より本楽祭が行われ、境内では県指定無形民俗文化財である鬮鶏楽、神代踊、獅子舞が奉納されました。

この日は、夏日を思わせるような暑い日となり、総勢約400人の行列が御旅山への往復約3kmの御神幸を行いました。

御旅所でも、神事芸能が行われ、終了後に神輿前にて祭典が執り行われました。その後、氏子総代の手によって醸造された濁酒(どぶろく)が振る舞われました。

帰りは、山下橋、本通りから神社へ戻りました。帰りだけに同行するお亀やひよっとも現れて愛嬌を振りまいていました。

沿道では地域の人たちがもてなしをして行列を迎えるなど、多くの人たちで賑わいました。

いよいよ来年は57年振りという式年大祭が開催されます。一年後には飛騨一円から神様や多くの人たちが訪れます。どんな大祭になるのか楽しみです。(山腰)

宮 再発見! モンデウス

自分の景色を見つけて見ませんか? 絶景のロケーション、モンデウスです。
(広報部 山腰 進)



新緑の一之宮を眺望する

5月は田植えの季節。モンデウススキー場から見た一之宮の風景も新緑に囲まれ、田んぼには、水が湛えられています。

写真を撮ったこの時は、まだ田植えが済んでおらず、代掻(しろかき)の最中でした。天気の良い暑い日も多かったのですが、霞が出たりして良い写真は撮れませんでした。この日は、朝は山が見えず、昼は霧が晴れて北アルプスがよく見え、田植えの合図とされた笠ヶ岳の「馬形」も見ることができました。(馬形部分アップの写真を右上に載せました。わかるかな?)

モンデウスの南側には、あの噴火が嘘のように、しかしながら、まだ静かに煙を吐いている御岳も見ることができます。

今後、田植えが済んだ水田がどのような一之宮の景色を見せてくれるか楽しみです。

ところで、写真には写すことができない、語るができな



眼下に一之宮、遠く北アルプスを望む

まぢよな



宮の子ども見守り15年

元気な姿に励まされることも

川上 允 さん (野添)

新学期も始まり、はや2カ月過ぎました。児童生徒も元気に学校に通っています。今回は、その登校の様子を見守っていただいている「こども見守り隊」の川上允(ただし)さん(80)です。

川上さんは、野添地区に住んでみえ、通学時刻の7時頃から7時40分頃まで踏切の所で見守っていただいています。見守り隊前身のスクールサポーターズ発足当時から始められ、もう15年ほどが経っているそうです。

7時半ころには列車も通ります。登校する子どもたちに声をかけ、安全な登校を呼びかけてみます。子どもたちの元気に登校する姿に励まされ、続



子どもたちの登校を見守る川上さん

けてこられたそうです。卒業する時に「見守って下さってありがとうございます」と挨拶してくれる子もいて何よりもうれいと話してみえました。

お聞きした日も、通勤時刻でもあり、多くの車が通っていました。これまで大きな事故はなかったが、高校生が急いでか、坂を下ったところで転倒したことがあったそうです。

地域の人へも呼びかけることがあるかお聞きすると、多くの人が挨拶をして気を付けて通行しているが、中には一旦停止しなかったり、携帯電話をしていたり、タバコの吸い殻を捨てている「横着者」もいるそうです。

また、川上さんは宮小学校の5、6年生にゲートボールも教えてみます。

川上さんは、かつて神岡の茂住鉱山に定年まで勤められていました。そこで、じん肺によって肺病を患い、今は、じん肺訴訟の原告副団長も務められて、東京などへも行くことがあるそうです。

子ども見守り隊のボランティア活動は、毎日、早朝からであり、本当に頭が下がります。無理なく、末永く活動をして欲しいと願っています。

訪れたこの日も、いつものように、子どもたちが登校し終わった頃合いをみて、川上さんの合図で、他の場所に見えた見守り隊の人たちもそれぞれ自宅へ帰って行かれました。(山腰)

族に食べさせてやることです。

大晦日の鰯(ぶり)は炭で焼き、ひら(山の物、海の物を奇数一緒に煮たもの)を椀につけて家族で食べること、お正月には花餅飾りを作り、四月三日の節句に雛あられにする。六月五日には笹巻をつくるくらいの程度ですが。

家で作った米を製粉した上新粉を団子にします。笹の葉六枚で包み、スゲで七巻します。笹巻を作りながら母は毎年同じ話をします。「きこりが笹の葉六枚で包まれ、大蛇に七巻半されて命拾いをした日が六月五日やったそうや」

大きな鍋に湯を沸かし、十個を一束にした笹巻を茹でる匂いと共に、幼少期にタイムスリップし、笹巻がごちそうだった頃に戻してもらえ

ことも私にはご褒美なのです。

毎日の食卓に少しでも自分の手をかけた野菜が料理に並び「おいしい」と思ってもらえたらいいです。

「物に愛を込める」思いを大事にした生き方ができたら幸せです。



川-Eッセイ

14

こんな生き方をしたい

下本 はつ子 さん

(まち協文化教養部 山下上)

私の家族は、四世代の八人家族です。台所が三か所あり、朝と昼は私の両親そして私達夫婦、息子家族の三単位でそれぞれ食べますが、夕食は全員で食べます。夕食の担当は主に私です。会計はそれぞれ出し、その金額で賄います。この四月からそのスタイルを始めました。ずっと続きますようにと祈っています。

両親は、私達夫婦と子ども三人を自分の子どものように養ってくれました。そのおかげで仕事を腹いっぱいすることができました。私が退職するまで元気にいてくれてありがとうと思う気持ちでいっぱいです。

私がやりたいことは、両親が教え伝えてくれた伝統料理を私の手で作り、家



かづき 華月ちゃん 平成26年9月5日生まれ

お父さん:山腰 宏禎さん《山下上》
お母さん:山腰 綾子さん

ぼくのなまえ☆わたしのなまえ

お月さまのように明るく周りを照らしてくれる存在になってほしい、という願いを込めて名付けました。その名の通り、華月の笑顔で周りにはほのぼの、家族円満にしてくれます。

最近は何に日に言葉覚え、どんなことでもまねをしてお話してくれます。年の離れたお兄ちゃんお姉ちゃんもたじたじです。歌や踊りも大好きでいつも口ずさんでいます。お笑い芸人のギャグも仕込まれています。

これからも明るく元気にたくましく、いつまでも家族のお月さまでいて欲しいと思います。

『ぼくのなまえ☆わたしのなまえ』に紹介するお子さんを募集しています! 詳しくは、まち協事務局(公民館内) ☎53-2424 までお気軽にどうぞ!!

お知らせコーナー

■認知症講演会 & ケアビクスのご案内 須田病院岐阜県認知症疾患医療センターが主催し、

まち協共催の講演会が下記の通り開催されます。

- ◆日時：7月23日(土) 午後1時30分～
- ◆場所：一之宮公民館ホール
- ◆内容：①講演「川柳にみる認知症」
須田病院院長 加藤 秀明 先生
- ②楽しんでケアビクス



日本ケアビクス連盟会長 瀧口 晶恵 先生

※ケアビクスはすに座ったまま行いますので、どなたでもお楽しみいただけます。

- ◆対象者：65歳以上で介護認定を受けていない方
- ◆参加費：無料 ◆定員：70名 ◆締切：7月4日(月)
- ◆お申込み：まち協事務局(☎53-2424)または、須田病院認知症疾患医療センター(☎72-2213)まで

■一之宮町まちづくり応援事業補助金の募集

まち協では、地域コミュニティの活性化や特色あるまちづくり推進を目的に一之宮町内の団体を対象に補助金を交付します。

交付対象者：①町内会・班 ②ボランティア及びNPO団体 ③教育・芸術・文化及びスポーツ団体 ④商業・農業及び経済団体 ⑤地域の活性化を目的とする団体

※宗教・政治団体など除外される団体もあります

補助金の額は対象経費の3分の2以内(公共施設維持管理事業については5分の4位内)とし、10万円を上限とします。

交付申請書等、必要な書類を添えてまち協事務局まで申請してください。

対象事業や手続き等、詳しくはまち協事務局までお問合せください。(☎53-2424)

※第1次受付締切は7月末とします。

「トレラン」ってなに? (2) 山本 茂

今年10月22日に開催される「第1回飛騨位山トレイル大会」について前回に続いて前宮中校長の山本茂氏に解説してもらいます。

「トレラン」の魅力って?

魅力は「自然の中を走る」ということです。気分は開放的になり、天気恵まれると絶景に出会うことができますし、季節を直接的に体で感じることができ、感性が研ぎ澄まされ覚醒します。また、走って疲れた体で川に浸かったり、各地で訪れた地の名産を楽しんだり、日常で味わえない体験ができます。時間・場所が違うだけで全く違った景色が見られます。

体は疲れても気持ちはリフレッシュできます。自然の持つ治癒力(森林セラピー、リハビリテーション)の恩恵を受けることができます。また、公園でのジョギングと比較して消費カロリーは2倍近く、脂肪燃焼や体力向上もより効果的です。常に体のバランスを取るために全身の筋肉を使い、普段使わない小さい筋肉も使うことになり、シェイプアップにもつながります。

冒険の魅力もあります。トレランのコースは危険な場所でもあるので、急な勾配はゆっくりと歩いて登り、緩やかな下りは自然を楽しみながらジョギングします。危機管理能力も必要とされます。水分・栄養補給、防寒防風、怪我予防、ありとあらゆる危険を予知し、危機を回避しなければなりません。危機管理能力を高めることや高性能で軽量・コンパクトな道具を準備することも魅力であり、経験豊かになっていきます。

地域活性化の魅力もたくさんあります。位山、天空遊歩道、川上岳、舟山、モンデウス、位山古道や水無神社、臥龍桜、おいしい食文化、民宿など観光資源の見直し、発掘、新たな情報発信ができます。さらに新たな顧客開拓とリピーター確保にもつながります。運営経費がマラソン等に比べて安価であり、地域の誰もが主体的に実行するイベントとして持続可能性ある地域実現が期待できます。



昨年の試走会のようす

図書館だより

雨の多い梅雨の時期は、外出を控えたくなります。そんな時こそ、読書のチャンスです。

以前から気になっていた本、普段は手に取らない分野の本に挑戦してみたいかがでしょうか。

★今月の特集

★「裁縫やおやつ作りに挑戦！」
ハンドメイドで、自分時間を楽しみましょう。簡単な洋服や小物のソーイング、いろいろな材料を使ったお菓子作りの本を紹介いたします。

★季節の絵本

「あめあめふれふれ」
雨の日を楽しむ絵本や、カエルが登場する絵本を紹介いたします。



〈おはなし会のご案内〉

6月18日(土) 午前10時30分
スタッフによる絵本の読み聞かせ・手遊び。申し込みは不要です。お気軽にご参加ください。

～公民館から～

■展示コーナー

絵手紙クラブ作品展

(6月中旬まで)

■6月の公民館定休日

13日(月) 27日(月)

■6月の位山交流館定休日

6日(月) 13日(月) 20日(月)

27日(月)

一之宮町の人口情勢

世帯数		811戸	
年齢	男性	女性	合計
0～14歳	186	156	342
15～64歳	674	713	1,387
65歳以上	347	464	811
合計	1,207	1,333	2,540

5月1日現在・単位：人

編集後記
畑や田の仕事がある方は、天候も良くなり、田植えや野菜類の苗植え、それらが終わって思ったら、草刈りや草取りなど5月だったかと思えば、特に勤めの無い私などは、楽しんでやればと自分に言い聞かせていますが、なかなかその境地には至らず反省ばかりです。急に熱くなりました。熱中症には気をつけましょう。(山腰)

つばやき
田植えの季節となり、町内には都会の中学生が学習の一環として、民宿に泊まって農業体験をしている姿をよく見受けられます。彼らがこの体験に対して、どのような感想を抱いているか、一度聞いてみたいものです。

いよいよ、宮中町の「宮中」は、農業体験を学んでいるので、宮中中学校の農業体験学習が無くなって久しいです。せつかな田園地帯に暮らしているのに、体験の場がないのは子どもたちの成長を考えればもったいないように思います。

地域の大人たちみんなで、農業体験に限らず色々な「体験の風」を子どもたちに向けて起す、「たくましく宮中」に成長するよう、うに後押しし、子どもたちを地域で育てていきたいと思います。(髭爺)

6月の行事予定

日	2	8	11	12	19	20
曜	木	水	土	日	日	月
行事内容	行政相談・心配ごと 結婚相談 (交流館)	チニア&バランスボール エクササイズ①(公民館)	サタデイサークル開講式	飛騨高山ウルトラマラソン	高山市消防操法大会	町内会長会 (公民館)

全国河川遡行クラブ

5日に源流の宮川を遡上

広島県に本部を置く全国河川遡行クラブが5月3日から5日まで、神通川遡行を実施し、5日に神通川源流の宮川沿いを遡上しました。3日に富山市を出発した一行は、4日には高山別院に泊り、朝6時に出発して3時間近くかけて「やかた文佐」付近まで歩きました。全国の一級河川の遡上踏破が目的のこのクラブは、春と秋の連休で3日程度の遡行をすること。会員は全国にわたり700名ほどで、今回は20代から最高齢83歳の人まで70名が参加しました。参加者は源流の新緑と1000mを余りを完歩した喜びに笑顔満開。今回の遡行では、一之宮観光協会が歓迎として臥龍桜ゴーフレットをプレゼントしました。(山腰)



宮川沿いを遡上して歩く参加者

女性部が総会を開催

ヨガ教室や6地区活動計画

まち協女性部の総会が、5月7日に一之宮公民館で開催されました。

た。

「女性委員会」から「女性部」と名称変更になったこと、「一円玉募金」が「すくすく募金」と名前も新たにスタートすることなどが報告されました。

今年度は「明るく楽しい活動をして、人とのつながりを大切にしよう」をテーマに、ヨガ教室をはじめ6地区の理事が中心に、地区ごとの活動が計画されています。

女性部が清掃ボランティア 公民館とカロリアで草取り

女性部の清掃ボランティアがカロリアと一之宮公民館で行われました。部員26人が参加し、公民館ではガラス拭きと草取りを行いました。

毎年の恒例行事で、公民館は外周りや窓ガラスがきれいになり、新緑がさらにまぶしく感じられました。



ガラスがきれいになりました

岐阜や愛知の中学生が田植

一之宮民宿組合が受け入れ

県内外の中学生による田植えが、今年も町内数か所の田んぼで行われました。



泥の感触を楽しんで苗を植える中学生

れました。

これは、社団法人「ふるさと体験飛騨高山」が企画運営して、一之宮町では主に「ひだ一之宮民宿組合」が受け入れて実施している中学生の体験学習事業です。

今年の田植え体験は5月9日から始まり6月3日まで、県内のほか愛知県や神奈川県の中学校5校から合計約970人が訪れます。期間中は町内の民宿が1泊2日から2泊3日の日程で生徒の世話をするため、民宿側では最も忙しい時期です。

5月18日には岐阜市の梅林中学校の2年生が水無地区の田んぼで田植えを体験しました。生徒たちは五月晴れの中、裸足で代かきされた田んぼに入り、楽しそうに苗を植えていました。

まち協部長や町内会長 一堂に会して「発進会」

まちづくり協議会の今年度事業が本格的に開始される前に関係者の意識の共有を図り円滑なスタートを切ろうと「まち協事業発進会」が臥龍の郷で5月13日に開催されました。

ました。

会には本部役員のほか町内会長や各部の三役、それに武川尚一之宮支所長はじめ担当する市職員など28人が出席しました。

発進会では今年度の事業展開にあたって参加者から、担当する事業やまち協事業について意欲的な声がかれました。



田邊会長のあいさつを聞く参加者

宮ジュニアバレーが優勝 13人の目標は県大会出場

5月8日に山県市で開催された『小学生さわやかバレーボール交流大会』で「宮ジュニアバレーボールクラブ」がリーグ優勝しました。この大会は県内の34のジュニアバレーチームが参加して行われ、1リーグ12チームで対戦しました。



優勝の賞状を手に喜びの選手

宮ジュニアは宮小学校女子児童6年生6人、4年生1人、3年生6人の13名のチーム。目標は県大会出場です。

練習は毎週火曜と金曜の夜、小学校体育館で行っています。一番大事にしていることは「声を出すこと!!」ということで、練習の時から常に心がけているそうです。

位山トレイル第2回試走 検討内容反映して踏破

飛騨位山トレイルの第2回試走会が5月8日に開催されました。昨年実施した第1回試走の後、コースや制限時間の見直し、エイドの位置などを検討した内容を反映し、本番さながらのスケジュールでの実施となりました。

参加者は19名で、朝8時にモンデウススキー場をスタートした後、位山山頂を経て川上岳を目指しました。うち8名はほぼショートコースの距離にある大イチイェイドまで、また11名は川上岳から再び位山を越えモンデウスまで戻るロングコース(33km)を時間内に踏破しました。(中島)



試走した関係者のみなさん